

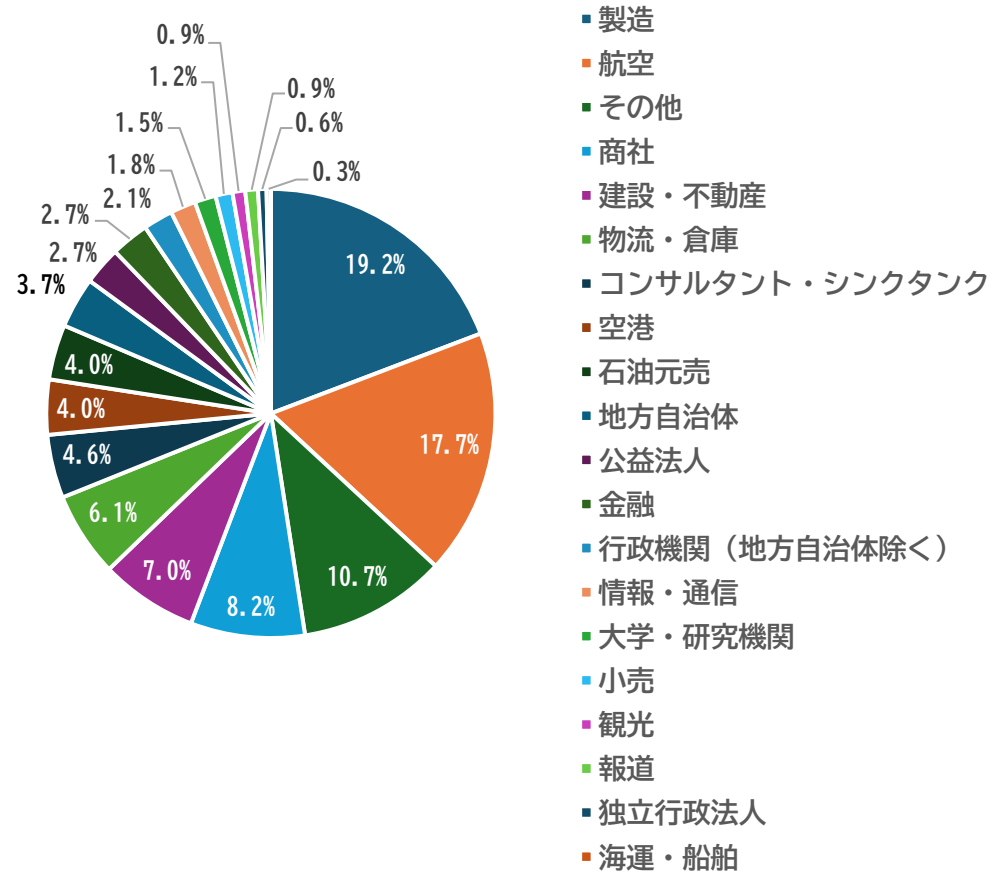
「空のカーボンニュートラル」シンポジウム
～SAF（持続可能な航空燃料）の環境価値の見える化～

<R6.2.21 アンケート結果>

主催：国土交通省、資源エネルギー庁

回答者の属性

属性	人数	割合
製造	63	19.2%
航空	58	17.7%
その他	35	10.7%
商社	27	8.2%
建設・不動産	23	7.0%
物流・倉庫	20	6.1%
コンサルタント・シンクタンク	15	4.6%
空港	13	4.0%
石油元売	13	4.0%
地方自治体	12	3.7%
公益法人	9	2.7%
金融	9	2.7%
行政機関（地方自治体除く）	7	2.1%
情報・通信	6	1.8%
大学・研究機関	5	1.5%
小売	4	1.2%
観光	3	0.9%
報道	3	0.9%
独立行政法人	2	0.6%
海運・船舶	1	0.3%
合計	328	100%



シンポジウムの満足度

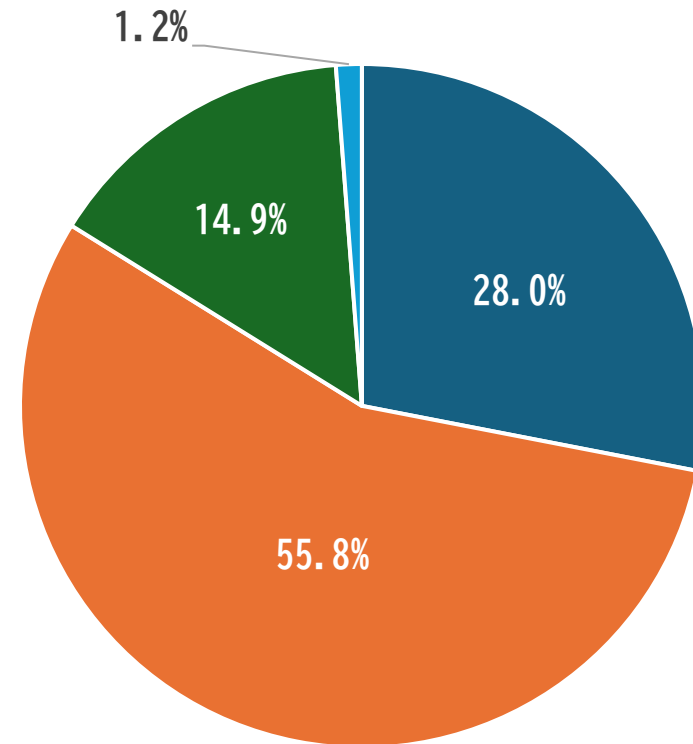
- ✓ 「非常に満足」及び「満足」の回答の合計が、約84%を占める。

理由：「国内外の様々な企業等の視点から情報を得ることが出来た」、「SAFについての理解が深まった」、「物流を切り口としたScope3への理解が深まった」、「内容が充実している、わかりやすかった」 など

- ✓ 「普通」は14.9%、「不満」は1.2%。

理由：「更に具体的な話を聴きたかった」、「冗長だった」 など

項目	人数	割合
■非常に満足	92	28.0%
■満足	183	55.8%
■普通	49	14.9%
■不満	4	1.2%
合計	328	100%



航空脱炭素化に対する利用者の意識を高めるための方法

✓ 「認知度向上/広報・教育活動の推進」への意見が最も多い。

- ・「シンポジウムをはじめ、TVやSNS等の様々なメディアを通じた、国民の機運醸成が必要」、「身近に脱炭素化を感じられる、参加できるコトの提示」、「子どもの頃からの教育活動」 など

✓ 次いで「制度の設計・施策の実施」。

- ・「SAFの公務員出張時での利用やグリーン調達の実施」、「ルールや罰則、補助金などの実施」 など

✓ 次いで「カーボンニュートラル貢献の可視化」、「SAF利用へのメリット付与」。

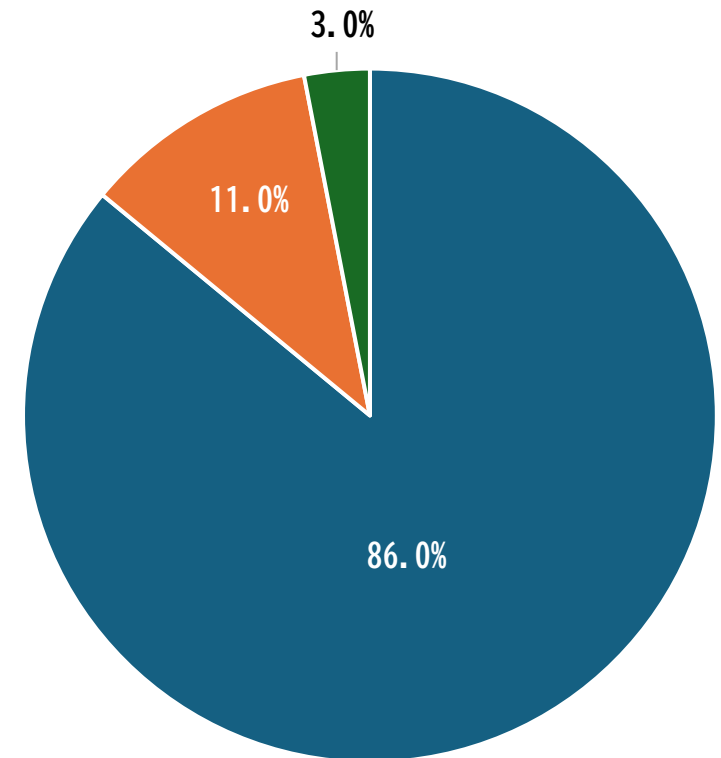
- ・「SAF導入コストや効果の見える化」、「消費者の行動による環境価値の見える化」 など
- ・「CO2排出量削減の貢献度に応じた税負担の軽減やポイント付与」 など

項目	人数	割合
認知度向上/広報・教育活動の推進	73	49.7%
制度の設計・施策の実施	19	12.9%
カーボンニュートラル貢献の可視化	16	10.9%
SAF利用へのメリット付与	15	10.2%
カーボンサーチャージ/SAFサーチャージ/税の導入	13	8.8%
SAFの安定供給/低価格化	3	2.0%
その他	8	5.4%
	147	100.0%

SAFの認知度

- ✓ 「知っている」、「言葉だけは聞いたことがある」との回答が97%を占める。
- ✓ 「知らない」との回答は10人（製造3、コンサルタント・シンクタンク2、建設・不動産1、小売1、その他3）

項目	人数	割合
■ 知っている	282	86.0%
■ 言葉だけは聞いたことがある	36	11.0%
■ 知らない	10	3.0%
合計	328	100.0%



SAF利用が自己負担の場合の利用について

- ✓ 「利用したい」、「どちらかと言えば利用したい」が約70%を占める。
- ✓ 一方で、「どちらかと言えば利用したくない」、「利用したくない」との回答が約30%。
その主な理由としては以下のとおり。

- ・ 経済性優先：脱炭素化に対して金銭的な負担をしたくないため
- ・ 環境価値の不透明性：SAFの利用や環境価値がよくわからないため

<その他意見>

- ・ 金銭的な負担の仕組みがわからない（仕組みと内訳が明確でない、SAFのコスト構造がよくわからない など）
- ・ 制度や仕組みで解決すべき（社会全体の営みの中での負担の義務化 など）
- ・ 負担した効果の可視化が不透明（社会貢献していることの見える化、CO2削減効果が不透明 など）
- ・ 企業・航空業界による負担
- ・ 負担する金額による など

<「どちらかと言えば利用したくない、利用したくない」理由>

項目	人数	割合
利用したい	65	19.8%
どちらかと言えば利用したい	165	50.3%
どちらかと言えば利用したくない	80	24.4%
利用したくない	18	5.5%
合計	328	100%

項目	人数	割合
脱炭素化に対して金銭的な負担をしたくないため	53	57.0%
SAFの利用や環境価値がよくわからないため	17	18.3%
金銭的な負担の仕組みがわからない	6	6.5%
制度や仕組みで解決すべき	6	6.5%
負担した効果の可視化が不透明	4	4.3%
企業が負担すべき	2	2.2%
値段次第	1	1.1%
その他	4	4.3%
合計	93	100%

SAF利用が他者負担の場合の利用について

- ✓ 「利用したい」、「どちらかと言えば利用したい」が約93%を占める。
- ✓ 一方で、「どちらかと言えば利用したくない」、「利用したくない」との回答が7%。
その主な理由としては以下のとおり。

- ・ 経済性優先：脱炭素化に対して金銭的な負担をしたくないため
- ・ 環境価値の不透明性：SAFの利用や環境価値がよくわからないため

<その他意見>

- ・ 金銭的な負担の仕組みがわからない（コスト増になる根拠や基準（日本独自の規格化）が明確でない など）
- ・ 制度や仕組みで解決するべき
- ・ 負担した効果の可視化が不透明（CO2削減効果が不透明） など

項目	人数	割合
利用したい	183	55.8%
どちらかと言えば利用したい	122	37.2%
どちらかと言えば利用したくない	20	6.1%
利用したくない	3	0.9%
合計	328	100%

<「どちらかと言えば利用したくない、利用したくない」理由>

項目	人数	割合
脱炭素化に対して金銭的な負担をしたくないため	8	33.3%
SAFの利用や環境価値がよくわからないため	7	29.2%
金銭的な負担の仕組みがわからない	4	16.7%
制度や仕組みで解決するべき	1	4.2%
負担した効果の可視化が不透明	1	4.2%
その他（無記載1含む）	3	12.5%
合計	24	100%